

CINEMA IN THE WORLD

世界のハンサム

淀川 長治

〈5〉

相場はアラン・ドロン。ところがこの正月はアラン・ドロンとチャールズ・ブロンソンの興行の決闘でブロンソンが勝ちました。とすると魅力のカーブはあの狸のブロンソンということになる。

相場の番狂わせである。ブロンソンのいったんどこがいいのかと聞くと、あの目、あの唇、あのヒゲ、ひどいものになるとあのチチ、なんですチチって。胸のおチチ。惚れるとアバタもエクボ。

ところで最近封切の「栄光への戦い」。これは大昔のジュール・ベルヌの「めくら使者」の映画化。明治大正の初め、あなたの祖父が愛読なさった冒険小説敵中突破何十里というクラシック。これをフランスが今ごろになって映画化した。なんでこんな映画化せんならんの。アクションありロマンスありで興行価値一〇〇パーセント……とは実はこれは表向き、本当はこの主役二人がこのプロデューサーのお目当て。というのはこの主人公マイケル・ストロゴフとこの男の目玉を焼きつぶすカタ



栄光への戦い

キ役のオガレフ……これをジョン・フィリップ・ローとハイルム・ケラーが演じている。

ジョン・フィリップ・ローは「バーベラ」の男天使、「軍曹」のその軍曹のおチゴさん。いまやあちらではえらい美男子の代表。彼の目は青く濡れて目千両。目下アラン・ドロンに肉迫。これに対するにハイルム・ケラーはフェリーニ監督が「サテリコン」で発見の美青年。この美青年は全身に男の性的魅力を勾わせている。それで

ジャリと善男善女は「栄光への戦い」を表から楽しみ、悪女またはホモ的男性はこの映画を裏から見よ……とこのプロデューサーはほくそ笑む。

さてイタリヤのマウロ・ボロニーニ監督(一存知であろうか、「ピアンカ」「墮落」の監督)このボロニーニの近作「わが青春のフロレンス」は明治末期の工場ストライキ映画。赤旗振って組合の組織。こわいこわいと申す勿れ、この物語の主人公メテロは十七歳で未亡人に童貞をささげ、やがて愛する娘と結婚し子供も生れ、それなのに隣家の

若い嫁に誘惑されて、妻の目を盗む色ごのみ、しかしこれを妻に感づかれ、涙をもつてものさやにおさまるこのメテロに女性観客がまいった。これを演ずるは映画出演初めてのイタリアの若きカンツォーネ歌手のマツシモ・ラニエリ。この顔見ると昔のあのジェームス・キャグネイそっくり。世界のハンサムの相場はますます狂って、いまやオモロナイ顔でもがっくりする必要はない。個性とサムシング。このサムシングが問題。ひとちに申せば男の香り。もつとばつさり申せば男のおいろけ。だいたいマローン・ブランドオあたりから美男の価値が狂いはじめ、ハリガネまゆげのショーン・コネリ、田舎のお兄さんそっくりのジュリアーノ・ジエンマ、シャケのひものみtainなステイブ・マックティーン、うらなりのキュリーそっくりのピーター・オートウール、印度のタバコ屋の看板みtainなオマー・シャリフ。こんなのがハンサム仲間に入りの今日にありましては、ロツサノ・ブラツツイやトニー・カーティスやトロイ・ドナヒューなどはアホみたいなんで、それよりもサー・ローレンス・オリヴィエ卿、リチャード・バートン、ヴィットリオ・デ



ライアンの娘



わが青春のフロレンス



エルビス・オン・ステージ

・シーカ、レックス・ハリスン、ユル・プリンナー、ピエール・ブラツスール、シャルル・ボワイエ、そしてジャン・ギャパンという初老クラスから本格老優の方がなんぼかハンサムとは……お言葉どおり。その中間がウオーレン・ビーティ、アララン・ベーツ、フランコ・ネロ、ジョージ・ハミルトン、クリストファー・ジョーンズと、思えば今や映画界は「男」時代。ジャック・ペランもチャキリスもクリント・イーストウッドも加えろとはちとあつかましい。プレスリーはやっぱり美男で……ござんしょう。さてジミ・ヘンドリックスの二代目と騒がれたクリストファー・ジョーンズはめでたくも巨匠デビッド・リーンに拾われて「ライアンの娘」でセイラ・マイルズ扮する人妻とひと目をしのぶイギリス士官。その人妻の良人というのが眠くて目をあけとられんみたいなのバート・ミッチャム。そりや彼女、クリストファー・ジョーンズに似たむくは当然。ところが私はロバート・ミッチャムの方がなんぼかいやねエと申せば、パチンと、張ったをされそうで、ここいらで私のえん無きハンサム探しはもうもう終らせて頂きやしょう。

SHUJI-MUKAI BE·IN



近頃、自分が内向的になったのか、
世の中におもしろいことが、
少なくなったのか、友達と話を
していても話題に困りまう。
何かおもしろい話をかして
頂けませんか。

西宮市在住
24才 男性

△早さくらベ△

ニューヨークの、さるビルディングの四十階にあるクラブで、ふたりの保険の勧誘員がおたがいに自分の会社が、いかに保険金を支払うかについて自慢し合っていた。

「最近も、うちの契約者のひとりが死んだが、二時間後には未亡人がもう保険金をもらったからね。」

「ふーん、うちの会社じゃもっと早いよ。こないだも、うちの契約者で、ちょうど

ビルの窓をふいている者がいるんだが、あつというまに足をふみはずして下に落ちたんだ。ところがこのビルの十階にうちの会社の会計課があつてね、やつさんは窓をすれちがうときに、そこから、小切手で保険金を払ってもらったよ。

〈透明人間〉

オペラ座のまえで、ひとりのきちがいが長い紐をひきずって歩いてた。警官が近づいてたずねた。

— そんな紐を引きずって、何をしているんですか？

— 透明人間をさがしているんです。

— 透明人間ですって？ そんなものをさがしてどうするんですか？

— この引っぱっている犬をかえしてやろうと思ひましてね。

〈胎教〉

若いおくさんが診察をうけにきた。

— 先生、きつと妊娠だと思ふんですけど。

診察してみると、やつぱりそうだった。

— ああ、よかった。でも先生、あたしこわいんです。

— なあに、ご心配はいりません。あつという間に生まれてしまひます。

— いいえ、産むことがこわいんじゃないんです。子供がうちの人に似てお行儀の悪い人になるんじゃないかと、そればかりが心配なんです。

— ほほう、これは難問ですね。でも、それなら、わたしは胎教をおすすめしますね

心の中で、何度でも、多いほどいいですが、「上品になれ、上品になれ」ってとるんです。ききめは、かならずしも確かというわけにはいきませんがね。

それから……九カ月過ぎても、一年たつても、二年たつても、子供は生まれてこない。

— おかしいですね、たしかに妊娠しているんですが、と医者も首をかしげた。

さらに十年、二十年とたつて八十歳になつたある日、いまはもうすっかりおばあさんになつたこのおくさんが、ポツクリ死んでしまつた。死因がはっきりしないので解剖に付された。

おなかを開いてみると、中でちっちゃな紳士がふたり、まるはだかで、長いあごひげをしきながら、たがいにゆずり合つていた。

— どうぞ、兄上からお先きにお出になつて下さい。

— いや、そんなこといわずに、君からどうぞ。〈フランス小話集より〉
これらの話を、参考に楽しい小話を考え出して見て下さい。

コミニティ・プロデューサー

向井 修二

★BE・INは皆さんが参加するページです。

向井の修二アニイはよろず相談ごとを引き受けますとのこと。

神戸っ子編集室BE・IN係あてにどしどしおはがきを下さい。

神戸市葺合区八幡通五丁目九六KEビル4F



★アイデアがあたった

「盗賊の館」

ホストだけの館としてのアイデアがあたった東門筋の「盗賊の館」(TEL 321548)は、このほど1周年を迎えた。

ディズニ調のおとぎの国の感じが店内のインテリアにほどこされて、この日は升酒で乾杯。マスターの中浜志朗さんは、自らギターで得意ののどをきかせた。バンドでダンスも出来、愉快にすごせるのでご夫人連のお出ましも、かなり多いとか。



1周年迎えた盗賊の館

★「なぎさ」が移転と開店

最近クラブの新装開店が多くなったが、クラブ「なぎさ」(与三野弘幸さん)が生田筋・金剛山西側の「ハイポイント」2階へ移転して4月3日にオープンした。

(神戸市生田区北長狭通2-1, TEL (33) 8626。また今までのクラブ「なぎさ」は、純神戸肉の炭焼を主体としたカウンター形式の食事とドリンクの店に生れ変わり、4月20日にオープンした。

舶来雑貨のコーナーもある神戸らしい店(神戸市生田区中山手通一丁目一一一TEL (33) 3670)となっている。

★クラブSが13周年

ピージイビイは2周年

「ア・ボトル・サンテノ」(あなたの健康を祝して乾杯)とクラブSが、4月5日と10日迄の1週間、13周年を記念に陽春パーティを開きました。ママの福島里

子さんはますますあでやか心こもったパーティに春らしい雰囲気。

また若い人に人気のある「ピージイ・ビイ」(生田神社西門入る)も2周年を迎えて、ママの高山房子さんは、学生ママで人気を集めたが、それも卒業して感じのいいママぶり。ピアノも弾ける音楽通で、ともに乗って演奏する人も多い。

★スヌービーがオープン

トア・ロード「サント・ノレ」の姉妹店「スヌービー」(スヌービーこと金川輝雄さん)が4月10日農業会館前にプチットなドリンクとスナックのお店をオープン。

小さいけれど可愛い店と、楽しい雰囲気がある。(PM5時〜AM5時 TEL 33-1689)

★楽樹のママ鹿野さんに

和風料理の楽樹(神戸市生田区下山手通3丁目41電話39-8649生田新道淡路交通南)は、四月一日より、新店主が鹿野美恵子さんとなった。旧店主の後藤淑さんは健康状態が悪く静養され、姉妹同様の鹿野さんが店舗、経営権一切を譲りうけてスタートしたものの。従来通りのお引立てをとのこと。

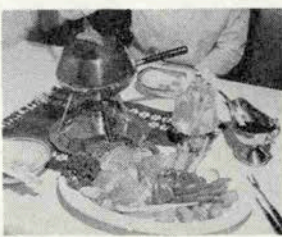
神戸うまいもと ドリンキング

★フック東店

栄町15ノ3
TEL (32) 320718

本格派の神戸ステーキを求める人なら一度は足を運んだことのある店、それがこの「フック東店」です。マスターとコック

さんたちが腕によりをかけてつくるステーキの味は格別、と評判高い。ス



テーキの他にスイス生まれのフォンデュ鍋もあり、ヨーロッパ風の店内でマンズワインのグラスを傾けながら食べる料理の味はここならではの。よりおいしいステーキと遠く離れた故郷の味を求めて訪れる外人客も多い。

《なぎさ》の移転とオープン

クラブなぎさが生田筋（金剛山西側ハイポイント2F）に
ブリアントなお目見得をいたしました。
もとの店は Grill とバーなぎさとして4月20日にデビュ
ーいたしますのでよろしくお引立て下さい。



GRILL&BAR
なぎさ

神戸市生田区中山手通1丁目111
PHONE 33-3670

4月20日 OPEN

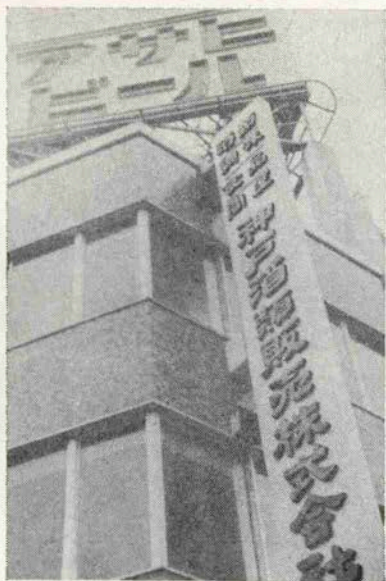
グリルとバー《なぎさ》
は KOBE BEEF の炭焼
きを中心にカウンターで
気軽に料理も楽しめる
バーとなっています。



CLUB
なぎさ

神戸市生田区北長狭通2-1
PHONE 33-8626





お酒の殿堂

酒類調味食品問屋
 乾 神戸酒類販売株式会社

取締役社長 三田 芳雄

本店・生田区中山手通一丁目七六
 TEL(078)3210201(代表)
 支店・西宮・垂水・兵庫

幸せな二人の
 縁を結ぶ
 結納儀式用品

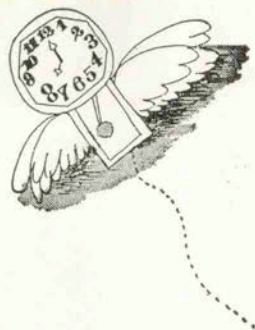


結納儀式用品

遠藤福寿堂

神戸大丸 姫路やまとやしき
 そごう神戸店 姫路山陽百貨店
 東店 トア・ロード那須2階 TEL<39>1871~3
 西店 長田区市バス菅原東入 TEL<575>2251~3

神戸百店会 だより



★全国の呉服専門店の役員 が神戸に集まります

全国の呉服専門店会連合
会神戸大会が、五月八・十
日に開かれます。

ちんがら屋、みよし屋を
中心とする神戸呉友会の手
で開かれるもの。

五月八日(土)は、午後
三時半から五時半まで、オ
リエントナル・ホテルで、ダ
イエー中内社長の「激動す
る七〇年代の流通業界」と
題する講演など、全国呉服
専門店の活発な意見交換と
親睦の集いが予定されてい
ます。

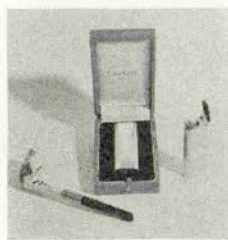
★宝石にも似た優雅な カルティエ・ライター

最高級の宝石と最も高価
で素晴らしい細工物で世界に
名高いフランス・カルティ
エ社のライターが始めて日
本に紹介され、トアロード
のクロスの店頭にお目見得
しました。

宝石細工とライターの製
造技術とを結びつけ、八五
の部品を組み合わせた時計

のようなメカニズムを持っ
たカルティエ・ライターは
エレガントなデザインはさ
ることながら、実質上最も
値うちのあるものです。

価格は金張り七五、〇〇〇円
銀張り六〇、〇〇〇円



“カルティエ”ライター

★おみやげにデカプリンを

さんちかスイツタウン
モロゾフ喫茶部のプリンを
大きくって人気「デカプリ

ンの愛称で親しまれていま
す。ゼラチンを使わず、牛
乳と卵白で作ったソフトな
舌ざわりのこのプリン、お
持ち帰りもできるようなに
なりました。そごうでは五月
十日から、一五〇円。

★ヅカ・ガールに人気 スギヤ宝塚店

大丸前、婦人服飾のスギ
ヤが、さる三月二〇日、阪
急宝塚駅南口構内「ファミ
リー・ストア」に支店を出
しました。

「ファミリー・ストア」は
阪急六甲駅構内のショッピ
ングセンターに似た女性用
のファッションのお店が並ん
でいます。スギヤは二〇坪
の拡さに明るいディスプレイ

商品にはヤング・ミセスを
主体にドレス、下着、小物
類など。宝塚の高級住宅地
のヤング・ミセスや宝塚歌
劇団の生徒さんたちの人気
を呼んでいます。

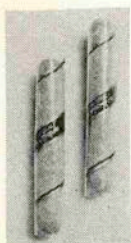
TEL 〇七九七 五〇三三

★葉巻? お菓子?

お菓子の寿本舗から葉巻
そっくりのお菓子「レボッ
ク」が五月十日売り出され
ます。

栗マンに似た焼き菓子
で、グレナードの実をあん
にした地中海の風香を想わ
せる味。

一本二十五円。ダンヒル
にも似た優雅なヨーロッパ
スタイルのケース入りは六
本入一五〇円から三〇〇
円、五〇〇円、八〇〇円。



“レボック”

●ショッパトビックス

★ドンクでは、三月から毎月一回
「フランスパン祭り」を行ってい
る。毎月第四日曜日とその前日の
土曜日の二日間、バゲット、パリ
ジャンをはじめとする十五種類の
のフランスパン全てを割引。これ
は代理店でも何処でもドンクのフ
ランスパン売っている店ならやって
います。日曜日のお食事はフラン
ス風はいかが?

★愛されている人のための口
紅。と、キスしても落ちないマリ
ー・クワントの口紅が、さんブラ
ザ三疊から発売されている。愛さ
れていない(?)人のためにもソ
フトクリームを食べても落ちない
口紅です。

★4月22、23日、第一回セリザワ
ファッション、バザールが明治生
命ビル12Fホールで開かれ、春も
の服飾品が特別に安く買えると
あって人気を呼びました。

★さんちかタウン風月堂・ルナ・
ピコテカ・の絵が変りました。
二紀会の宮地孝さんの作品。油絵
の作品五、六点はとても幻想的。
四月一日から三ヶ月間。

★元町バザーでは、この五月に
「ドール」のネクタイを新発
売。フランス生まれの「ドール」
ネクタイは巾広(十一cm)の非
常に新しい感覚のストゥにマツチ
するハイカラ風のネクタイです。

★大丸前、オートクチュールの装
苑の新社屋が三月十八日、灘区将
軍通に落成し、今までは本店とアレ
タ部が分かれていたものが一本に
なりました。

住所/灘区將軍通三丁目四番二十
四号

TEL/本店事務 〇九〇七

プレタ営業部 〇三 一七九

縫製部 〇三 〇三〇

ポケットジャーナル



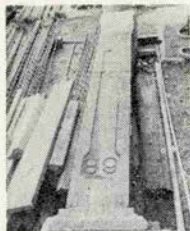
★居留地の面影残す

68番館の門柱復現

元居留地の京町筋、大広ビル新築工事現事から、居留地時代の商館、68番館の門柱が掘り出され、八月のビル完成とともに復現されることになった。

文化財保存へ協力する大広への感謝とこの門柱の歴史を彫んだ宮崎市長の碑とともに長さ、四米程の門柱が大広ビルの庭へ設立される。

この門柱の歴史は、明治二年にオランダのハルトマン・ベレルさんが競売で二百七十五坪を百坪二百一円二十五銭で買い、その後明治三十八年にドイツのマイエル商会に渡り、戦後は焼けたまま空地となっていた。



68番館の門柱

★さんちかタウンと パリの「Party 2」

姉妹商店街提携

コンコルド・オペラ・エトワール・エツフェルなどパリの名所の名前が七つの入口につけられ、世界で一番美しいショッピングセンターと言われるパリの高級専門店が集まった「Party 2」とさんちかタウンが五月二十五日から姉妹商店街となる。

「Party 2」はさんちかタウンとショッピング街の雰囲気も似ており、ショッピングセンターの運営に関する

情報交換や使節団の交換を年一回パリウィーク（仮称）と称し、さんちか広場でパリから届く商品の展示即売会も催される予定。パリの甘い香りを神戸っ子が満喫できる日ももうすぐのようだ。

★津高和一作品の流れ展

津高フアン（山村徳太郎）が十五年前に、初期の代表作「母子像」を収集して、約二十点の津高芸術の中心関係とみられる作品をコレクションされ、さる四月三日大阪南のつるのす



流れ展の津高和一氏（中央）

ビルオープンを機に、五階で展示とレセプションが開かれ、一般公開は四日、五日に行われた。

山村コレクションの作品展示によって津高フアンはそのエスプリを味わえるというさわやかな作品展だった。

★女性にもてる石版作品

新制作会員の石阪春生さん（本誌キリシタンの墓挿絵担当）が、大阪フォルム画廊で四月三日まで一週間個

誕生日 ありがとう 運動



★啓蒙図書の紹介

精神薄弱問題啓蒙運動を展開している本運動では、次のような啓蒙図書を発行しています。
「神戸っ子」の愛読者のみなさん、ぜひこの一読をおすすめします。

誕生日ありがとう運動ブックス1
「ちえおくれの話」

著者：神大助教授伊藤隆二
内容：ちえおくれとは、ちえおくれの原因と発見。相談機関。福祉教育機関。ちえおくれと社会の人たち。ちえおくれを正しく理解するために。ボランティアや特殊教育への道案内等。
A五版 全一八ページ
頒価 二百円（送料共）

昭和四十四年九月発行以来、中学生でもわかる啓蒙図書として、全国的に頒布されています。現在第四版まで発行し、三万冊をこえました。

誕生日ありがとう運動ブックス2
「共に育つ」

一糸賀一雄講演集
内容：山高くして谷深し。この子らを世の光に。糸賀先生を囲む会。糸賀先生を偲ぶ会。
A五版 八十八ページ
頒価 二百円 送料五十円
本書も好評で、第二版まで発行しています。

両書とも申込みは、左記の事務局まで

誕生日ありがとう運動事務局
神戸市鈴合区御幸通八一九一
神戸国際会館一階（郵便局前）
TEL 〇七八八六一（代）
内線 二五八

展を開いた。「女」ばかりを心象風に描いた作品二十二点を飾った。作品は、ファンタスティックな構成とクールなタッチで独自の世界をつくりだしている。会場に来るのは七〇%は女性ファンで、しかも二〇歳代の若い人達。三〇%の男性、ことに中年以上の人達はそっぽを向いてしまふとか。「私は若い人にアピールすれば、その方が嬉しいですよ」と気楽に女性ファンと語り合う。「女」に徹底した力作がそろった個展であった。



会場で石阪春生氏

★アメリカ・ロス・Qギヤラリー「で新谷沢さん個展

二紀会の女流彫刻家の新谷沢さんが、三月二十八日(四)月二十四日迄、アメリカ、ロサンゼルス、Qギヤラリー「で個展を開いた。新谷さんは神戸の彫刻



木による作品

一家新谷秀雄さんのお嬢さん。今迄の鉄を素材にした作品に加えて新しく、木を素材にした沢さんらしい母性的タッチのスケールのある作品写真が案内状に見られる。インターナショナルな活躍が清々しい。

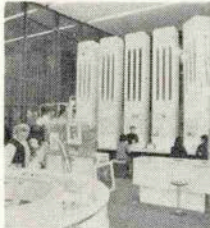
★コーヒーのんでお買物「ピコ」と「ドンタ」

ジョッピングを楽しみながら、ついでお茶も飲んでもらいましょうというスタイルのお店が出現。一つは生田筋の舶来雑貨店「ステッキオカダ」(TEL(33)1198)がお店の奥にカウンタートップでお茶もどうぞと始めた「PICO」(ピコ)。

コーヒー・紅茶(140円)ピコサンド(190円)はハムとソーセージが部厚くてご気嫌。一番高いのがイチゴジュース(450円)



生田筋のピコ



ポートターミナルのドンタ

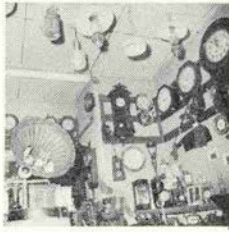
ストローでのめない生ナマのジュース。午前十時三十分から午後九時迄。

もう一つはポートターミナルにある「DONATA」(ドンタ)で、港が見えるカウンタートップは、観光船や、貨客船などで絶景。ホットドッグ(150円)ソフトクリーム(80円)コーヒー(120円)。明るいモダンなインテリヤの店内に山田礼子さんのレイクラフトや、矢野担さんのガラスアークセサリーなどのオリジナルもの、舶来雑貨がチャームイングに並べてある楽しい店。

★骨董品なら

六甲ギヤラリー

骨董品マニヤが急増している今、阪急六甲駅近くの



カッコイイ古時計が...

六甲ギヤラリーを紹介しよう。御主人の岡田さんと友人の小西さんとで去年の暮れに始めたこの店、大きいのが多い。聞けば、時計ってチョト突くだけで動かなくなるし、場所をかえただけで止まったり、実に気難し屋なんです。非常に人間的

美術ガイド



★県立近代美術館

画業50年小磯良平展 4/29~5/23

エミリオ・グレコ名作展

5/29~6/27

★大丸五階ギャラリー

京中古家具市 5/4~9

春紅会日本画展 5/11~16

藤原啓雄・恭助父子陶展 5/18~23

現代大家油絵「花」 5/25~2

★白鶴美術館 20期展

白鶴春季特別展「古唐津」 5/1~30

★南蛮美術館 5/1~25

近世開国文化展 5/1~25

★神戸画廊

ベルナル・ビュフェ展 4/27~5/9

★元町画廊

郷達和現代絵画展 5/1~10

★アカデミー画廊

藤野宏史展 5/1~16

★トア・ロード画廊

小磯良平エッチング展 4/29~5/23

★新光ギャラリー

朝鮮陶磁展 5/1~16

★KCCギャラリー

岡田親彦創作ガラス展 5/1~7

★前田三油絵展

植田俊夫油絵新作展 4/29~5/5

★そごう美術画廊

中野草雲日本画展 7/1~12

中尾淳日本画展 21~26

作陶3人展 28~6/2

(西川実、松本為佐復・米沢久)

★安田画廊

第12回松美会展 5/4~9

木本・中川・坂東3人展 11~16

★ロイヤル画廊

藤沢登個展 5/11~23

KOBE POST

だし女性的でしょ。だから僕のガールフレンドな訳です」こんな風にすごく話し好きな青年、君も一度のぞいてみたら。

★星泥棒の海賊版

あらわれる

本誌の連載マンガでおなじみの岡田淳君が十九歳の時自費出版した星泥棒の海賊版が名古屋で発行され、



岡田淳さん（左）とご対面

一度、ともかく会いたいという岡田君の要望で海賊版発行元の向畑良作君と井上重則君が神戸へやって来た。いきさつは三年前名古屋で浪人中、向畑君が予備校でちらっと見た星泥棒が忘れられなくて友達にトレスしてもらい、それを見た井上君が、このさい十部ぐらいコピーをつくろうと出来あがったのが、この海賊版というややこしいもの。頁がバラバラになっていたので、話がつながらなくて、苦心したそう。星泥棒へほれ込んでこの仕業、友好的なおしゃべりが三人の間で交され、本物を持ってない二人に岡田君から星泥棒の本物をプレゼントする約束がまとまった。

★足でかいた北海道の手引

わしい五月の中旬が選ばれたのは結構なことだ。祭りの内容はどれもスツキリしない、みなとの祭り

と神戸カーニバルをたして二で割ったような盛りこみ方で新鮮なアイデアのものが残念である。

しかし、これも第一回目だから止むを得なかったかもしれない。が、折角、市民が主役のお祭りをという願いが、宮崎市長の英断で、花開いたのだ。もっと神戸っ子らしい楽しくてセンスにあふ



北海道の手引

故郷と言える所がない純粋都会人が増して行くだろうがそういう人々には、特に北海道の旅をして心の故郷にすることをすすめたい、と言う。1963年夏以来毎年一回は北海道を歩るきまわるという後藤良平さん（市立神港高校勤務・須磨在住）著の「北海道の手引」が発行された。その本を見て北海道へ行きたくなくなる言本ではなく、旅をするにあたって、必要な本というも。特にユースホステルを利用する人には詳しい情報

が織り込まれている。れた内容がほしいうものである。

それでも今度の神戸まつりは、みなとの祭りの垢が洗い落とされて全部のスケジュールに市民参加の大方針がつかぬかれていますのは立派である。

永い間、お祭りから遠のいていた市民側にいささかの戸まどいがあるがそれも回を重ねると自然に盛り上ってくるだろう。市民の手にもどされたお祭りは市民の手で大切に育てなければならぬ。

△YV

花時計

第一回
神戸まつりひらく

「神戸みなどの祭」と「神戸カーニバル」がひとつになって「神戸まつり」の第一回目が五月十五日と十六日の両日にわたって開かれる。水色のまち神戸にふさ

★デザイナーの上杉典子さんが「スタジオ・10」の事務所を東京に移されました。東京都港区南青山3丁目15ノ4カサ青山302号室3（40）0623。青山3丁目のYORS前です。

★神戸JICの小林賢三さんはこのほどKKFジャヤ大飯店企画開発（大阪府西區西通堀4丁目3デシノ6153812461代）に入社。販売促進に寄与する企画から製作までのあらゆるディスプレイの総合プロジェクト・ディスプレイ産業と経営コンサルタントにあたられるとか。

★マンガの萌川義人が本山へ転居されました。神戸市東灘区本町森子庄野2ノ11（44）2634

★神戸市役所調査部副主任の諸岡博雄さん（本誌技術ジャーナル担当）は、四月一日より阪神外資ふ頭公団の工務部長となられました。

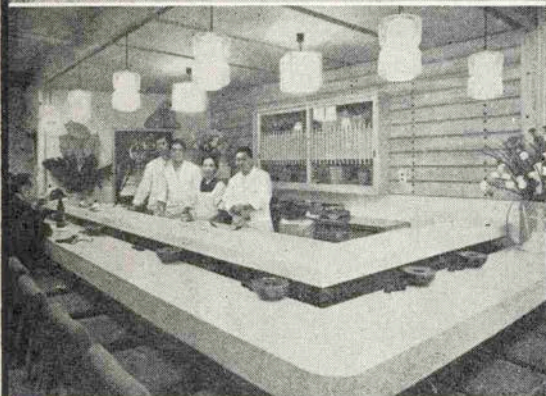
★神戸大丸の支店長が、植村通生さんから浅田武澄さんにバトンタッチ。植村さんは東京大丸へ転動されました。

★画家の中西勝さんが全国的美術記者による選抜新人展で入賞されました。

★ハモンドの小曾根美さんの一番弟子である小田裕さんが、三月二十九日オリエンタルホテルで小夜子さんとゴールデン、おめでとろ、★小曾根美さんは四月八日より十九日まで11PMのTVプログラムのための韓国旅行。トリオの三人と11PMスタッフ二人と共に釜山の釜山ソールを廻って、最後に下関の釜山フェリーから全国中継だそう、ミッドにふさわしい旅行です。

★俳人の赤尾兜子さんが四月二日「大和の芭蕉」をテーマに毎日TVの真珠の小箱に出演されました。

ゆったりと落ち着いたスペースで
新しい“味”をご賞味ください。



又平の鮓

神戸三宮生田ノ杜ノ西
電話・三の宮 (33) 0935



おいしさが
口いっぱい
ひろがる……

本場の味



- 三宮センター街柳筋店
TEL 32-3446・33-0572
- 新開地店
TEL 576-1191
- 平野店（平野市場内）
TEL 36-0821
- 三宮センター街サンプラザビルB₁
TEL 39-3793

キリシタンの墓

小山 牧子

え・石阪 春生

迷路 (2)

あらずし 二年前短期大学を卒業した佳は、母親蘭子との生活に思つまりを感じ、米國系海運会社のエージェンツに勤めに出ることにした。ある夜ボスのヒギンズ氏とともに訪れた願成寺の墓地のくらがりで村重船長と呼ばれた老人に会い、佳はこの老人の部屋で褐色に色をかえた若い頃の自分の父村林裕作の写真を発見する。動転した佳は母、蘭子からかくされた自分の知らない秘密をさぐりだそうとする。

その夜、二階中央の広間に敷きつめてあるふかふかとした絨毯を素足で踏み、父の部屋のドアをあけた佳は、硬い鉱物質な無人の部屋の臭氣にまず眉をしかめた。かすかなカビの臭いさえもがまじっている。

佳は、壁にとりつけたスイッチを探りあて、高い天井から花の形でたれるシャンデリアに灯を入れた。と、佳の目に、父の硬く凍てた部屋全体が闇の底から浮きあがるのである。

明治後期の異人館建築にふさわしい時代がかった彫物のあるマホガニー製の大きな机と肘掛椅子、同じように古い重厚な飾棚と、その上に置かれた中世の帆船の模型、真鍮の花器など、父が大切にあつかっているすべての調度品の上に、ほこりが白く積もっている。

少し大仰な表現であることを恐れずというならば、まったくその言葉通りに、裕作の居室は、無造作に投げだされた一個の屍さながらに、荒涼と冷えていた。

自分の生活のあらゆる場面から、夫の存在を抹殺しつつ、奔放に生きようとする妻の蘭子には、留守中の裕作の部屋の窓をあけ、風を入れるといったほんのわずかなまめやかな心も起らぬらしい。

裕作の船が、神戸に入港する予定日の前にある休日を利用して、ほとんど半日がかりで部屋を掃除し、寝具のたぐいを日に当てるのは、いつも佳の仕事になっている。が、父の帰神する日を目前にして、いそいそと部屋を片ずける日以外、佳は父が不在のその部屋にいるのが嫌いだ。理由は単にカビ臭いからとか、ほこりっぽいからというだけのことではない。

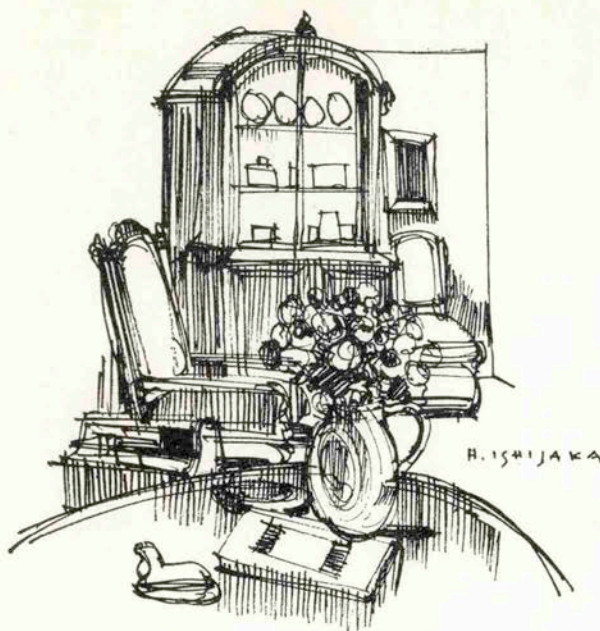
父の部屋には、佳の情緒のやわらかく刺激するものが何一つないのである。ガラス戸のある書棚の奥にびっしりと背文字を並べる洋書類は、氣象学から航海術の専門書、海図集、日本語の雑本のたぐいも、中世から近世にかけて歴史上に名をとどめる探検家の伝記や時事評論の著書。浪漫的な女流歌人を妻にもつ夫の個室にしてはめずらしく文学書のたぐいは一冊もない。

せめて父の留守中、その居室にもぐりこみ、父がかつて感動して読んだ文学書を手にとり、自分もページを繰って父の暖かい感触を楽しむといったフアーザー・コンプレックスを病む娘にその種の楽しみを与えることをし

ない村林裕作という男の親さを、佳は淋しいとおもう。太いパイプをゆったりとくわえ、常にやさしい顔を娘にむけている裕作の別の側の硬い鉱物質な顔がこの部屋にはある。父の部屋で、佳はいつもその父の親さにはじかれてしまうのだ。

しかし、その夜の佳は、父の部屋の絨毯も敷かぬ荒い木の床の中央に立ってゆっくりと周囲を見まわした。壁には装飾らしいものは一つもない。部屋の隅に、頑丈な台にのせられたロダンの複製が一つ。それは装飾と呼ぶよりは、部屋と共に古びた調度品といった方がふさわしいほどのしっとりした調和をもって置かれている。

佳は、スラックスのポケットから取り出した巻煙草に灯をつけ、深々と吸いこんだ。佳の唇から吐かれる紫の煙が、凍結した部屋にもくつきだし、そこだけが暖かい雰囲気にながれてゆく。



やがて佳は、父の肘掛椅子に腰をうずめ、視線を調度品のそこ、ここに忙がしく走らせはじめた。いつもは、父の部屋を嫌う佳であったが、その夜の父の部屋にとどまる佳の目は、まるで楽しい遊びに熱中する子供たちの瞳さながら、なんと生きいきと輝いていたことか。

——この硬い鉱物質に冷えた部屋のどこかに、わたしがこれまで知ることができなかったささいなもの。想像力を刺激するだけの紙きれとか、写真、古ぼけた女の遺品であってもかまわない。ともかく、村重船長があのように熱っぽくパパと由佳子のロマンスを語ったのだ。パパがその早逝した娘の思い出の品を、そつとどこかの抽出しにしまいこんでいないはずがない。きつとある。どこかにある。常のパパからうかがうことができた女々しいもの、親い男特有の抒情的風貌のかけにひそむウエットな抒情。佳は、今夜、必ずその父がかくし持つ一面を、このカビ臭い父の部屋から引きだしてやろうと気負うのである。

夜が更けると、階下で蘭子が響かせていた生活の音も途絶えたあとは、鳥籠の中で無意味に羽ばたき、しわがれ声をあげる九官鳥の気配と、自室に引きこもった蘭子が、一つの歌を生みだすために呻吟し、飢えた獣のように部屋中を歩きまわり、ときには壁打ったりもする気配だけである。佳の目からは、蘭子が四、六時中みせるその種の生みの苦しみは、決して人間的に尊い行為とはおもえない。鳥籠の中ではたく九官鳥の行為と、古い館をきしませて呻吟する蘭子の行為は、ともに無意味で貧しいとおもって、佳は嫌悪する。

が、佳を常々、不愉快にさせるそれらの音も、九官鳥のバカがたてる音はさておき、この二、三日、蘭子の方のギシギシは、たいそう早目に切りあげられるようになった。

——どうしたんだろう。

佳は、意地悪く考える。

——呻吟のすえ、めでたく新しい歌の境地をひらくことができたのだろうか。それならば、結構なこと。なにとはともあれ、静かなのはいい。夜中、醒め続け、うろついたり、唸ったり、つぶやいたり、の濃厚な生きものの音をたて続ける同居人が一緒では、佳の頭の方がおかしくなるうではないか。

佳は、脳皮の一隅でそんなことをチラチラと考えながら、自分の仕事にとりかかった。

まず、目の前にある頑丈なマホガニー製の机の抽出しを上から順番にあけてみる。どの抽出しにも鍵はかかっていなかった。湿気をふくんだ抽出しは、静まりかえった夜更けに、驚くほど重いくもった音をたてて佳の手で

引出される。

一番上は、けずっていない鉛筆が一ダース、定規類、船会社が得意先に配る小型メモが数冊。二番目の抽出しはカタログ、三番目は、古い専門雑誌が無造作に放り込まれている。

どの抽出しからも強い湿気とカビの臭いが佳の鼻孔めがけて突きあがってき、それらの臭いと抽出しの中の内容物から、佳は、何年もの間、父の生活と愛着がこの部屋になかったことを知らされ、落胆した。

机の抽出しを調べ終えた佳の関心は、書棚と並べて置かれたロッカーに移った。

——鍵のかかっていない抽出しは、ブタ公にきまつているよ。

佳は、蘭子が聞いたなら、露骨にいやな顔をしそうな品の悪い言葉をつぶやきながら、ロッカーに手をかける。期待に反してロッカーは、簡単にすべりだしてきた。裕作のように思慮深い男が、この種の開放された場所にあの美しい少女の写真一枚でさえも入れておくだろうか。否である。

——どこかに、もっと適切な秘密のかくし場所はないのか？

無邪気な輝きをおびていた佳の目に、次第にねばっこい執念の光りが宿りはじめた。

書棚のガラス戸をひらいたとき、佳の胸が期待でわくわくした。というのは、洋書の背文字が並ぶ書棚の下が抽出しになっていたのである。そっと引いてみる。と、微動もしない。鍵がかかっている。

佳は夢中で動かしてみる。動かない。更に力を入れると、書棚全体が、がたび



H. I. S. H. I. S. A. K. A.

★新しい関西を創造する総合雑誌

オール関西

＜5月号予告＞

☆京阪文化論

座談会構成／京阪文化とは何か

京阪沿線文化の歴史をさぐる

京阪現況地図／京阪レジャー・ライン

☆連載対談

辻 久子—吉村一夫

☆連載随想 鈴木 剛

☆座談会「祭りの哲学」

人間性回復のお祭りとは……

原始の踊りからカーニバルまで

津高和一

木村重信

ソネ真理

☆特集・神戸まつり

神戸まつりのすべてを紹介

☆創作

草書本 猿飛佐助（第三回）

神坂次郎

え 片岡真太郎

壬生子の海（第一回）仲谷和也

え 横塚 繁

表 紙 「舞子ヶ浜」池田遥郎

巻頭詩 伊勢田史郎

カット 河野通紀

☆オール関西編集部

大阪市北区曽根崎一丁目三〇

八千代会館三階 06-313-2635・0588

しと揺れ、部屋全体が揺れる。

鍵のかかる抽出しが、そのような子供じみた方法でひらくはずがない。少し心を落着け、佳は鍵穴を凝視する。さまざまな鍵の形が、佳の脳裏に忙がしく浮かんで消える。果ては、針金からドライバー、千枚通しのたぐいまで……。が、つまるところ合鍵がなければ駄目だ。一瞬前まで佳の眼前にひらけていた複雑に入り組んだ迷路と、少女じみた女の顔、写真で見た由佳子の白い光る顔が、失望で真黒に塗りつぶされてゆく。

心が残り、その場を立去りかねてもう一度その閉じた抽出しと鍵穴を、姿勢を低くし、水平な目の高さからのぞきこんだときである。佳は一瞬、驚きの声をあげ、更に近く目を寄せていった。外にまではみだしてはいなかったけれど、その抽出しには、白い紙が一枚、内部からつかえたかっこうではさまれているのが、佳の目に確認されたのである。

大切な物をしまいこんである抽出しのこの乱雑さ。長く部屋を留守にする男がこのように不始末なままで出掛けていくだろうか。それに佳の父、裕作は特に几帳面な性格の男なのである。

——こんなはずがない。

闇の中に没した迷路が、再び佳の前に混沌ともつれあった姿を現わした。

だれかが父の留守中、いや、それもごく最近、この抽出しをあげたのではないか。それも、追いたてられるように、あせる心で、あわただしく抽出しをかきまわし、何かを持ちだして去った。

でなければ、このように中のものがはみだしかけているのも知らず立去るはずがない。

だれだろ？ が、合鍵を持たぬだれにでもできるといった仕事ではない。ならばだれだ？

佳の脳裏を、蘭子の豊満な顔がよぎり過ぎた。いくら愛情の薄い夫婦であるとはいえ、蘭子ならば合鍵を持っているかも知れぬ。

いや、裕作から渡されなかったとしても、帰神して館で休養する夫のすきを見て、合鍵を作らせることもできようではないか。

ママ、ママだわ、きつと！

蒼ざめた顔でそうつぶやき、佳は書棚を離れ立ちすくんだ。

（つづく）



Mr. Kent
came to Kobe
流行に左右されない
本来のオシャレ
それがKentです
シックな
スコッチ風の店舗
それがFunakiyaです

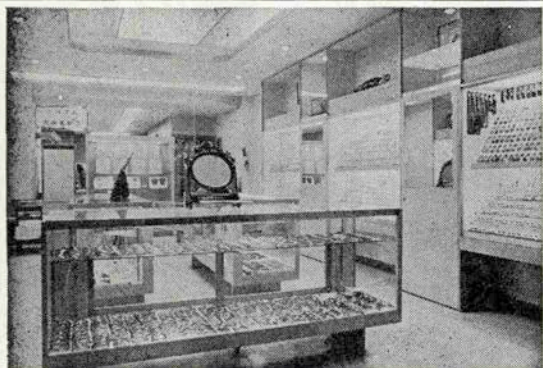
Kent shop
フナキヤ
元町3 TEL <32> 0356



ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを!

三恵洋服店

元町4丁目 TEL (34) 7 2 9 0

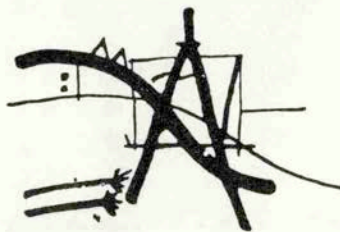


べっ甲美術品とアクセサリーの専門店

太田 鼈甲店

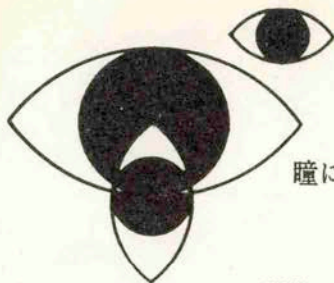
元町4丁目 TEL (33) 6195

額縁絵画・洋画材料
室内工芸品



末 積 製 額

三宮・大丸北
トア・ロード
☎1309・6234



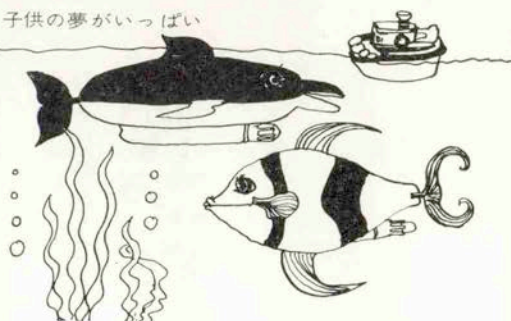
瞳に美しさを保つ
スポーツに
美容に
現代の科学が生んだ
コンタクトレンズ

日本コンタクトレンズ協会会員

国際コンタクトレンズ研究所

神戸市灘合区御幸通八丁目九ノ一 (三宮駅前)
神戸国際会館内 TEL (22) 8161・(23) 2570

子供の夢がいっぱい



おもちゃの

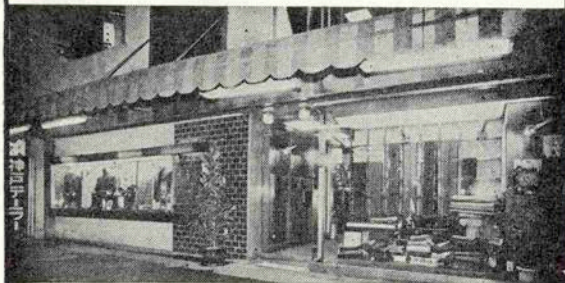
カメヤ



三宮方面でのお買物は……
さんちか店 ファミリータウン 094045
三宮店 センター街大洋劇場東隣 034969
元町方面でのお買物は……
元町店 元町通3丁目山側 030090
パンプウ店 元町通1丁目不二家前 090768

高級紳士服専門店

神戸テラー



さんちかメンズタウン TEL 090388
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL 0332817・3173

オリジナル L サイズ

草履新発売

創業明治二十八年

履物の山下

古い老舗に新しいセンス

確実正札 完全冷暖房
静かに品選びの出来る店

神戸三宮センター街 TEL (39) 0256

やっぱりうまい
むさしのとんかつ

コベ三富
ムサシ

でんわ・33—三七七一
32 32—〇六三三
32 32—〇六三五



おすし
てんぷら

栄 彌

本店 大丸前・三宮神社東

TEL 33 56772
56734

(毎週水曜日休み)

支店

さんちか味ののれん街
TEL 39 5233

(第3水曜日休み)

営業時間
A.M. 11.30 ~ P.M. 9.00



スタンド

桑 香

桑 烟 房 子

リラックスした
ひとときを……

コウベビル地下
TEL 33-6763



北海道の味を直輸入の店

スナック ドナドナ

下山手通1丁目5 ゼウスタウンビル地下
TEL 39-1200

カクテルラウンジ

サヴォイ

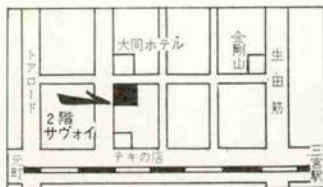
生田区北長狭通2丁目
TEL 33-2615



★新緑が野山を染め、海の青さが一段と目にしみる五月。国電沿いのテキの店を少し北に入った所、ビノキオの北通り2階に昨秋引越しオープンした「サヴォイ」がある。真紅のカーペットを踏みしめて階段を上ると、小林さん夫妻や若いバーテンさんたちがにこやかな笑顔で迎えてくれる。英国調のシックなインテリアとゆったりとした空間の中でくつろいで飲む洋酒の味はまた格別。一度足をはこぶとすっかりファンになってしまう不思議な店だ。格調高い雰囲気のためには手頃な値段で飲めるのも魅力。スペースの広いボックス席もあるのでグループでも楽しめる。

サヴォイ特製サンド、クロックムッシュ ¥300 ビール ¥200

営業時間 P.M.5:00～A.M.1:00 日曜は休みです。

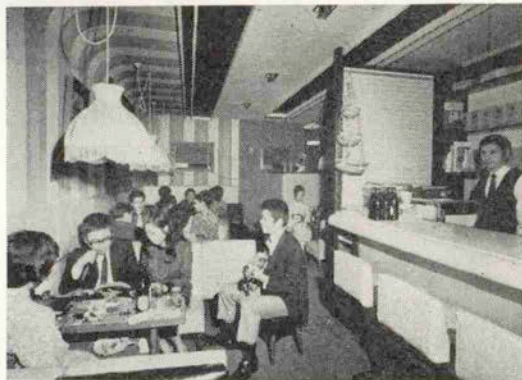


DRINKING

クラブ

ジャルダン

生田区中山手通1丁目111
TEL 33-8589



★5月の神戸はフラワーに始まり、神戸の夜は「ジャルダン」で悪いが始まる。三宮生田新道の大津飯店を北に上がると左手、トントンと階段を昇りつめるとクラブ「ジャルダン」の花園が待っている。

カウンターで静かなバーテンさんを相手にするもよし、ボックスで気楽にグラスを傾けるもよし、またギターに合わせて歌うもよし、日頃のウサもふっきれる楽しい花園だ。きれいな花に囲まれて飲む酒も酔いを誘う。

マスターの岩戸秀能さんことガンちゃんのキップの良さが店に反映して、さわやかなクラブとなっている。

神戸を訪れる人の多い昨今、さあこんなクラブが神戸にもあるのですと気楽に誘い連れてこられる安心な店だ。ガンちゃんと親しくなるほどに店の良さが分るというから、得なマスターである。

午後6時から12時まで。

